

公認大会改革の方向性について

一昨年 2 月より JOA では公認大会改革に取り組んでおりますが、このたび改革の方向性をまとめました。その最初のステップとして、「ランキング対象大会」を制度化してゆきたいと思っておりますので、その概要を公表します。令和 2 年度中に新制度の詳細と関連する規則を整備し、令和 3 年度には移行できるように準備を進めてまいります。

1. 全体の方向性

オリエンテーリング愛好者に適切な質と数のオリエンテーリング大会を提供できるようにするため、JOA が関わる、オリエンテーリング大会(ロング・ミドル種目)を下表のような体系にします。スプリント種目の体系については、別途スプリント委員会にて検討を進めてゆきます。

	競技会	定義	方向性
1	全日本大会	種目別に日本選手権者を決める大会	JOA が主催して継続的に開催する。
2	公認大会	競技規則に則って開催され、JOA が公認する大会	高品質の競技会を提供し、その結果を認定する。
3	ランキング対象大会	全日本大会の E 権取得の対象および年齢別ランキングの対象とする大会	競技者のランキングをするのにふさわしいと思われる競技会を JOA が指定・依頼する。
4	その他	上記 1-3 以外の大会	開催届けの手続きを整備する。 JOA が中央競技団体として、開催されている大会の情報を集める。

2. 新設する「ランキング対象大会」について

目的:「ランキング対象大会」とは、日本選手権のためのエリートクラス参加資格(以下 E 権)を取得するための機会を、公平に、必要かつ十分に提供すること、および年齢別ランキングの活性化と適正化をすることを目的としています。

申請主体:「ランキング対象大会」を決定するにあたっては、主催者からの申請を待って JOA が審査するという受動的な手順ではなく、JOA から能動的に働きかけ、主催者をお願いすることになります。

競技規則適用:競技規則の適用については、全日本大会・公認大会が競技規則を適用するのに対し、「ランキング対象大会」では規則の理念を共有した限定的適用とします。これにより、例えば年齢別のクラス分けや競技の方式などについて主催者の裁量の自由度を保障することができ、良質な大会を提供しているにもかかわらず、様々な理由で過去に公認申請をしていなかった大会を活用することになります。

依頼する大会の選定:どの大会を「ランキング対象大会」とさせていただくかについては、JOA が、開催時期、地域性、大会規模、主催者の実績等から総合的に判断することになります。依頼をするタイミングについても今後の検討となります。現時点では少なくとも年間10大会程度は必要かと考えております。

競技者登録:「ランキング対象大会」への参加そのものは競技者登録していなくても可能ですが、E権取得はもちろん、年齢別ランキング対象となるのは競技者登録をしている人のみです。

なお、JOA としては、「ランキング対象大会」を足掛かりに、実力のある多くの主催者の方が高品質の「公認大会」を開催していただけることを望んでいます。

3. 今後残されている公認大会に関する課題については、以下のようなものを考えています。

- (1) E権取得にランキング制度を利用するという考え方はどうか？
- (2) 競技者登録制度のあり方について
- (3) 「公認大会」の公認料について
- (4) 「公認大会」の参加者に負担していただいている会員支援金制度について
- (5) 「その他の大会」の情報収集のための方策

なお、当件に関するご意見・ご要望を受け付けます。特に3.の今後の課題についてのご意見もお寄せいただければと思います。2020年7月20日ごろまでに、以下のメールアドレス宛にお寄せください。

joa@orienteering.or.jp

タイトルは、「公認大会改革について」としていただければ幸いです。

以上